

平成27年度 「大阪市統一テスト」における 大淀中学校の結果の分析について

大阪市による「大阪市統一テスト」について、平成27年10月15日(木)に、第3学年を対象として実施しました。

大阪市教育委員会では、保護者や地域の皆様に説明責任を果たすことが重要であると考え、より一層教育に関心をお持ちいただき、教育活動にご協力いただくため、各学校がテスト結果やテスト結果から明らかになった現状等について公表するものとしています。

本校でも、テスト結果の分析を行い、これまでの成果や今後取り組むべき課題について明らかにしてまいりましたので、本市教育委員会の方針に則り公表いたします。

1 テストの目的

- ① テスト結果を個々の生徒の評定(内申点)に活用し、平成28年度入学者大阪府公立高等学校入学者選抜における調査書に記載する評定の公平性、信頼性を確保する。
- ② 学校が生徒一人ひとりの学力を的確に把握し、学習指導の改善及び進路指導に活用する。

2 テストの対象

- ・ 原則として、大阪市立中学校及び特別支援学校中学部の第3学年

3 テストの内容

- ・ 国語、社会、数学、理科及び英語の5教科

平成27年度「大阪市統一テスト」検証シート

学校名	大阪市立大淀中学校
生徒数(人)	97

平均正答率（点）

	国語	社会	数学	理科	英語
学校	71.1	61.5	67.3	59.1	67.5
大阪市	64.7	57.4	59.3	55.6	59.8

結果の概要

平均正答率を比較すると、本校における平均値は、国語(+6.4ポイント)、社会(+4.1ポイント)、数学(+8.0ポイント)、理科(+3.5ポイント)、英語(+7.7ポイント)と、5教科共に大阪市の平均値を上回っていることがわかる。特に、国語、数学、英語の3教科については大きく上回っているといえる。

領域・観点・問題別の分布を表すグラフからは、5教科とも大阪市全体における分布と同様に、記述問題での正答率が他のカテゴリーの問題の正答率に比べて低い値となっていることがわかる。

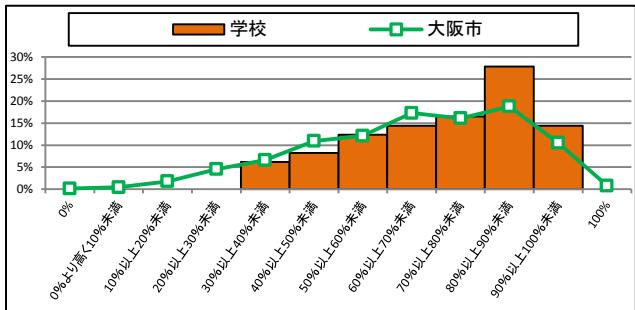
成果と今後取り組むべき課題

「わからないこと」や「わかりにくいこと」への対応として、テスト1週間前や長期休業中等における教科質問日や学習の機会を設けてきたことや、指導方法・指導内容の改善に対応した授業研究など、「平成27年度大淀中学校教育改善アクションプラン」に基づいて進めてきた教育活動の成果が出ていると考えられる。また、国語、数学、英語に関しては少人数・習熟度別授業が有効に活用できた成果であると考えられる。記述問題における正答率を向上させるため、生徒自らの意見や考えを発表できる場を設定することや、図書館活動を活性化し言語活動の充実を進めることなどを平成28年度アクションプランに掲げ、取り組みを進める。

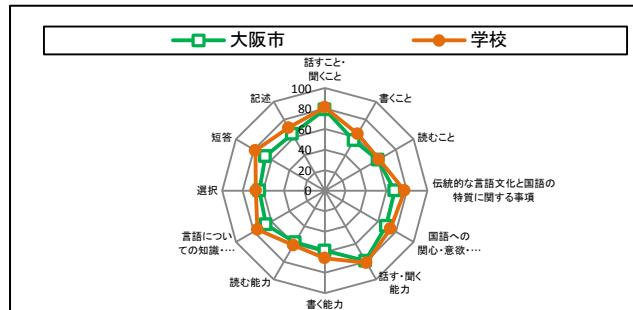
【各教科の得点分布と領域・観点・問題形式別平均得点の分布】

【国語】

【得点分布】

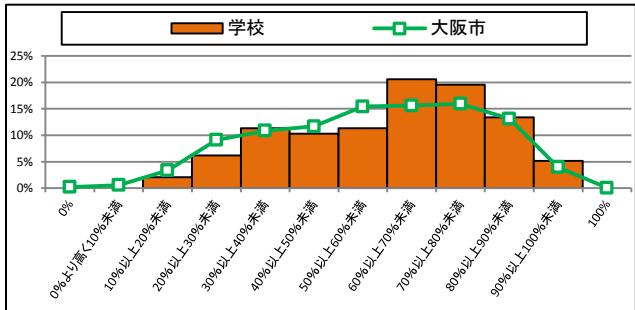


【領域・観点・問題別の分布】

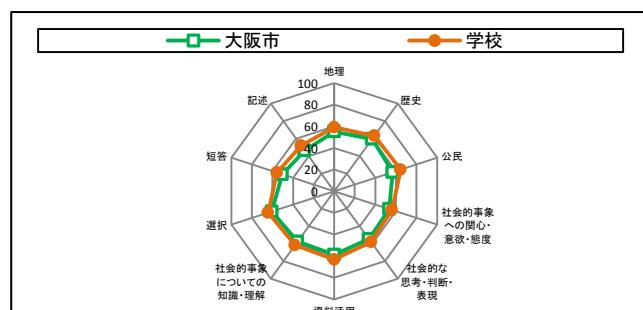


【社会】

【得点分布】

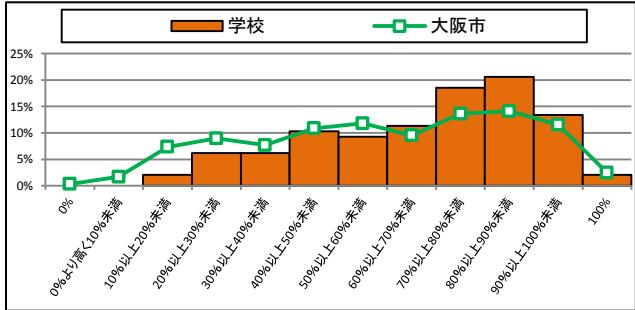


【領域・観点・問題別の分布】

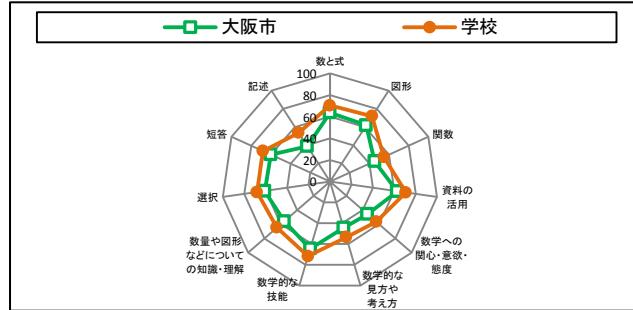


【数学】

【得点分布】

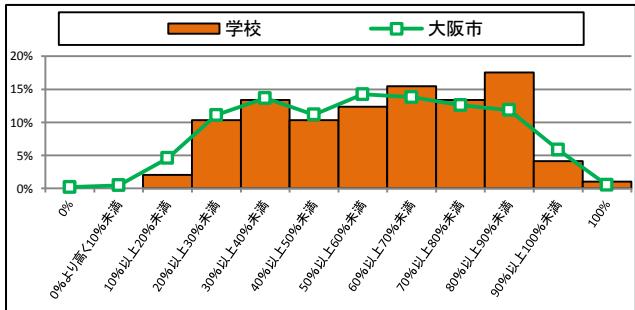


【領域・観点・問題別の分布】

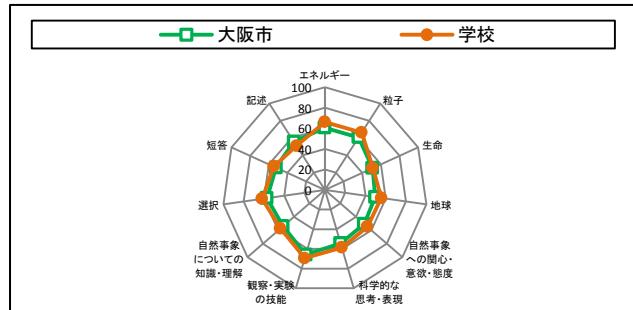


【理科】

【得点分布】

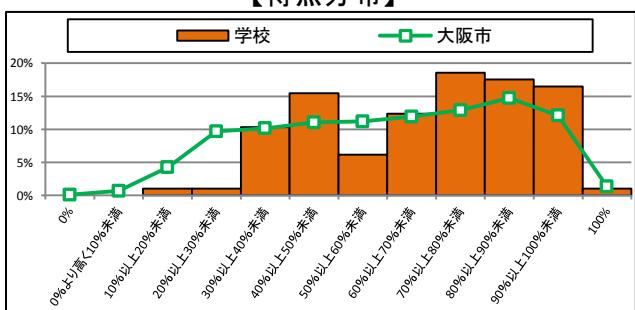


【領域・観点・問題別の分布】



【英語】

【得点分布】



【領域・観点・問題別の分布】

